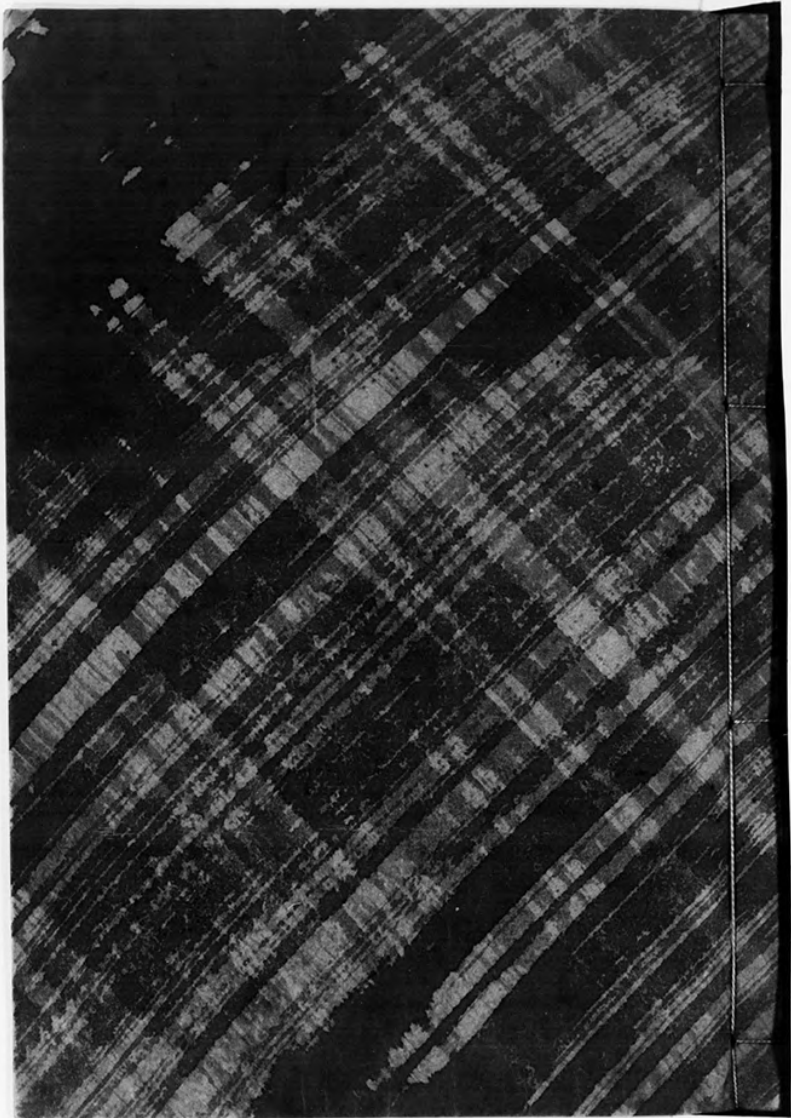
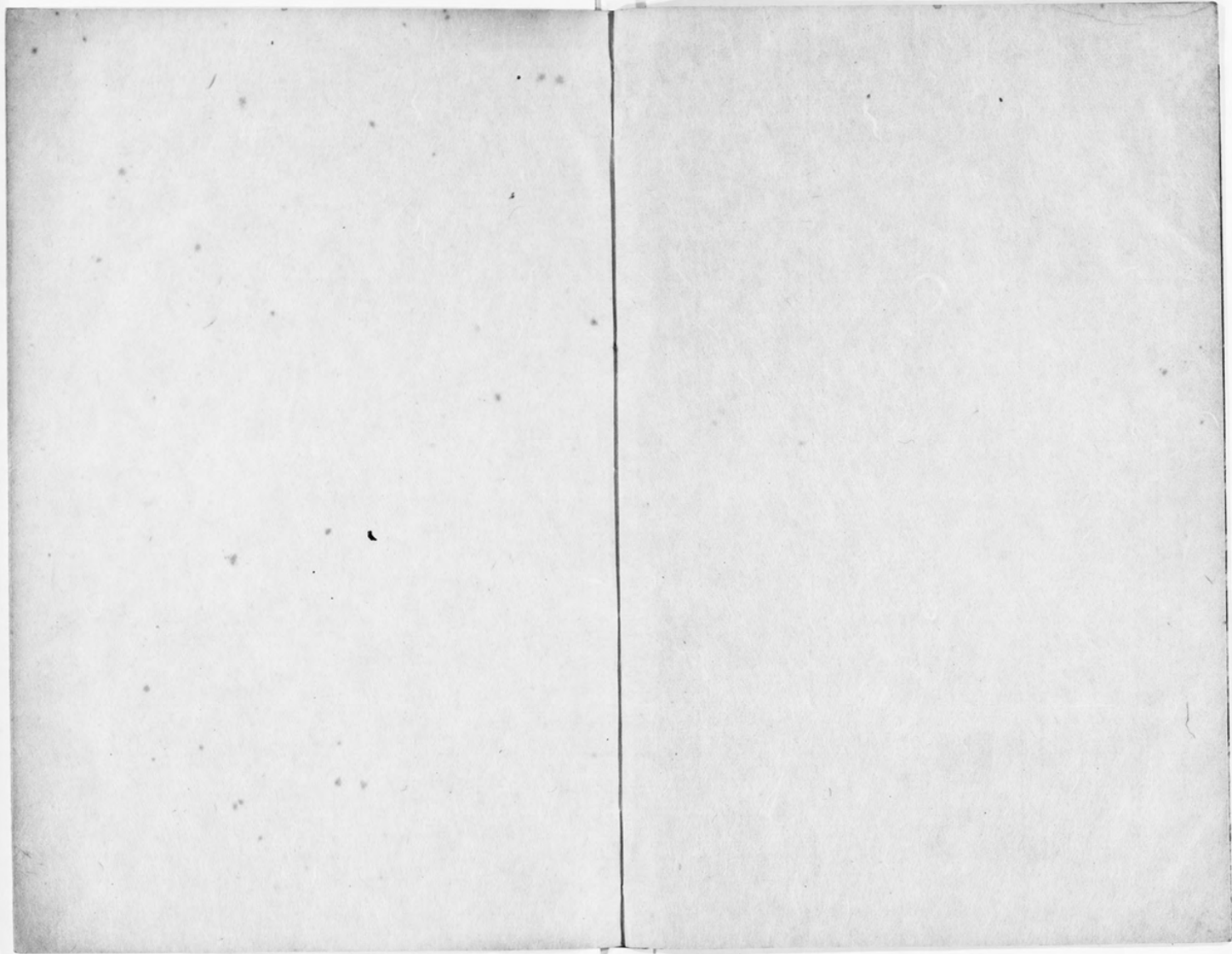
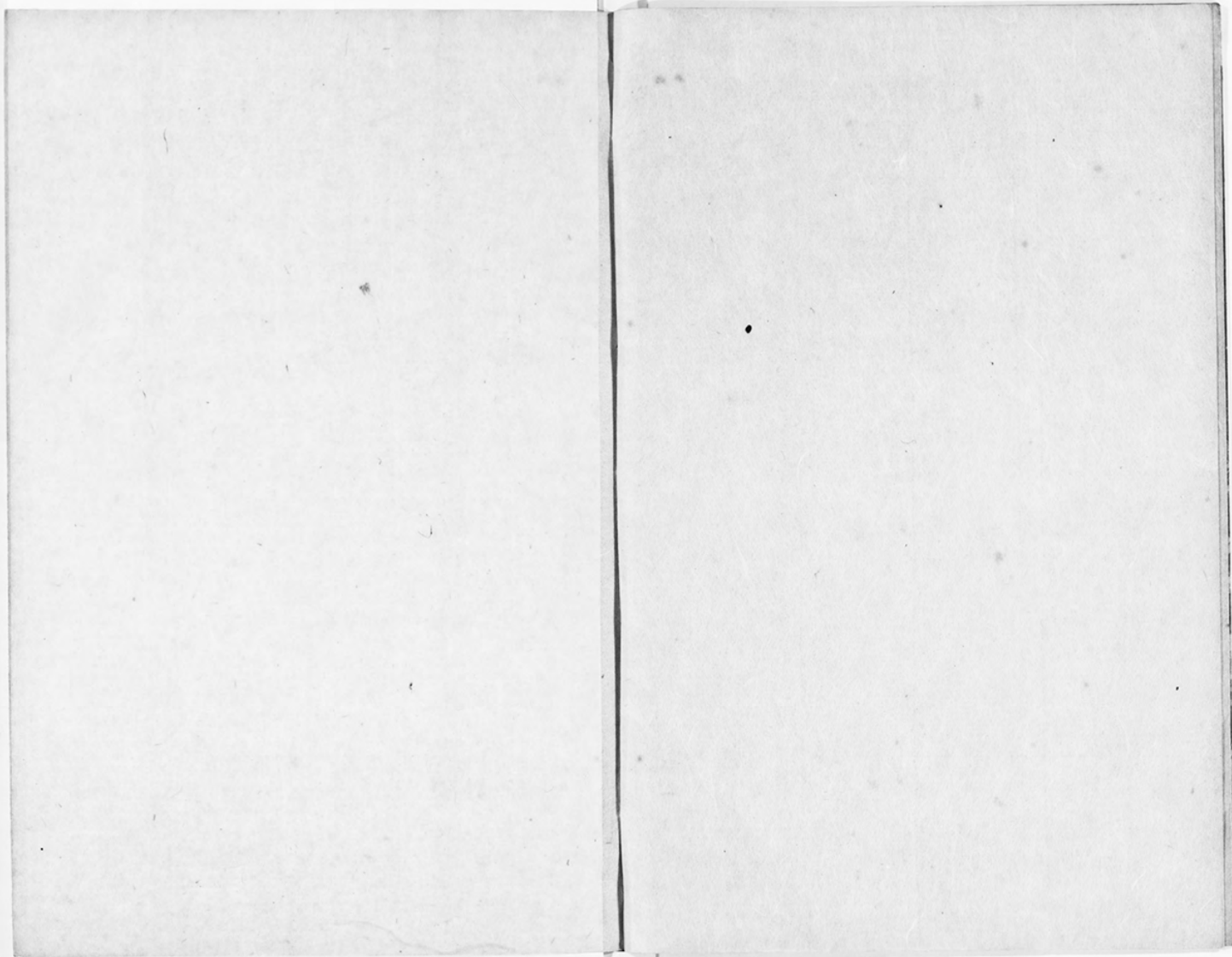


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。







朱書

貞初書多那大平村酒造買水引引法候書

是

元也花文

酒造買水引引法候書
大買水引引法候書

酒造買水引引法候書

大買水引引法候書

介

酒造買水引引法候書

大買水引引法候書

貞初書多那大平村酒造買水引引法候書
元也花文

貞初書多那

大平村

大買水引引法候書

酒造買水引引法候書

朱書

右在私元所行新法其國人多上達即
大平村園造其地亦其古之美其古之
百五之利其地亦其古之美其古之
引之引會其古之美其古之美其古之
其古之美其古之美其古之美其古之
其古之美其古之美其古之美其古之
其古之美其古之美其古之美其古之

天保十一年十一月

吉南直次郎

和歌文新

昔年 楊唐下 三斗中 倫物中 十五倍 茂之由中 古之由中
表書之酒造其古之美其古之美其古之
永豐百五倍其古之美其古之美其古之
外書其古之美其古之美其古之美其古之
其古之美其古之美其古之美其古之

列中
朱書

朱書

角井流後及

朱書

五ノ村ノ酒造自來水ノ...

光

一 酒造自來水ノ...

二 酒造自來水ノ...

三 酒造自來水ノ...

四 酒造自來水ノ...

五ノ村ノ酒造自來水ノ...

光

四ノ村ノ酒造自來水ノ...

三ノ村ノ酒造自來水ノ...

二ノ村ノ酒造自來水ノ...



朱書

下九

中多就中子看便分
陸奥國安房縣松島郡村
浪傳人 春 次
中文字久々浪村に在る傳人記
記去年陸奥安房縣松島郡
中文字

移九

中文字久々浪村に在る傳人記
引渡り記書の中は傳人記に在る傳
人記の中は浪村に在る傳人記
中文字久々浪村に在る傳人記
中文字

○一 酒造米拾五拾石
以實米永百七拾石

日村 田村
長九

○一 酒造米或拾石
以實米永百七拾石

日村 田村
長九

○一 酒造米拾石
以實米永百七拾石

日村 田村
長九

○一 酒造米拾石
以實米永百七拾石

日村 田村
長九

○一 酒造米拾石
以實米永百七拾石

日村 田村
長九

○一 酒造米拾石
以實米永百七拾石

日村 田村
長九

○一 酒造米拾石
以實米永百七拾石

日村 田村
長九

朱書

下九
 中支清公の内村の二市と嘉永也言本年の播方
 後演多成中

○一 蘭送米拾石
 外 奥加永拾石

元吉龍文
 蘭送米拾石拾石
 外 奥加永拾石拾石

各酒送米拾石拾石
 外 奥加永拾石拾石

酒送米拾石拾石
 外 奥加永拾石拾石

奥加永拾石
 外 奥加永拾石

元
 中支清公の内村の二市と嘉永也言本年の播方
 後演多成中

奥加永拾石
 外 奥加永拾石

元吉龍文
 蘭送米拾石拾石
 外 奥加永拾石拾石

右に私元吉龍文新 奥加永拾石拾石
 外 奥加永拾石拾石
 各酒送米拾石拾石
 外 奥加永拾石拾石
 酒送米拾石拾石
 外 奥加永拾石拾石
 元吉龍文
 蘭送米拾石拾石
 外 奥加永拾石拾石

天保十六辰年三月

寺西正次郎

朱書

御勅定祈

表書之旨通達其言或曰公檢及森
 以實加意年分永或貴之曰六拾九文
 中下之邦年分而多之者納歸村
 外書之託于年分古為元元能之其
 所書之切文也

辰三

鴻圖常力友

朱書

箱井俊藏
奥州 順大寺村 酒造格後相傳書片
中 海村

酒造格の公文計二并

一 酒造格の公文拾五石并

二 酒造格の公文拾五石并

福司 順大寺の奥州所

奥州 順大寺の奥州所

酒造格の公文計二并

酒造格の公文拾五石并

酒造格の公文拾五石并

右の公文高野新附公文能新 奥州 順大寺の奥州所
百餘石高野福司 高野馬 奥州新附 信文郡
順大寺村 百餘石 公文 百餘石 酒造格後相傳書片
私伝新 公文 百餘石 公文 百餘石 公文 百餘石

朱書

此紙乃村ノ在後ノ角音原ノ禰通共作
此紙仕度ノ事及ノ旅費ノ言由出古ノ高辰
中納言長分言港至馬ノ市利古者三ノ元
組仕ノ振古者文ノ事ノ上候ノ事也

天保十八辰年八月

御井院藏

市勘文所

表書ノ酒造並高ノ檢取ノ事ノ願通
後法續中分ノ其如ノ事ノ年分ノ承旨文高辰
中納言御帳分言ノ此兩事ノ相納古者
元ノ組ノ仕度ノ事ノ申上ノ事也

石月

朱書

角井法藏
身所修練
於此酒造其地引長流海之國書

是也

○ 酒造其地引長流海之國書
此身所修練於此酒造其地引長流海之國書

○ 酒造其地引長流海之國書
此身所修練於此酒造其地引長流海之國書

○ 酒造其地引長流海之國書
此身所修練於此酒造其地引長流海之國書

朱書

一 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

二 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

三 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

四 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

五 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

六 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

七 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

八 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

九 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

一〇 酒造り本庄
本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

本庄酒造り本庄

朱書

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

日村
 日村
 日村
 日村
 日村
 日村

朱書

謝別處師經各存付
御之在教書
書以序

御之在教書
御之在教書
御之在教書

御之在教書
御之在教書
御之在教書

御之在教書

御之在教書
御之在教書
御之在教書

御之在教書
御之在教書
御之在教書

御之在教書
御之在教書
御之在教書

御之在教書

朱書

附錄卷之二
朱書

俱各日乃
日乃
日乃

俱各日乃
日乃
日乃

日乃

俱各日乃
日乃
日乃

俱各日乃
日乃
日乃

俱各日乃
日乃
日乃

朱書

脱落付箋

湯中 脱落付箋 花甲子 年 湯中 湯中 湯中

朱書

一
酒造部左
世傳部左

世傳部左

身利部左

作平左

酒造部左

世傳部左

日村

身利部左

酒造部左

世傳部左

日村

身利部左

酒造部左

世傳部左

身利部左

作平左

酒造部左

世傳部左

身利部左

作平左

酒造部左

世傳部左

身利部左

作平左

酒造部左

世傳部左

身利部左

作平左

酒造部左

世傳部左

日村

身利部左

酒造部左

世傳部左

身利部左

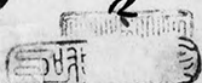
作平左

酒造部左

世傳部左

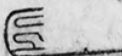
日村

身利部左



身利部左
作平左

身利部左
作平左



身利部左
作平左

朱書

此後石

但在此石

身刺岩 經 中川村

作平石

此後石

但在此石

日村

石古居

身刺岩 經 中川村
又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
又 又 又 又 又 又 又 又 又 又

此後石

但在此石

日村

石古居

身刺岩 經 中川村
又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
又 又 又 又 又 又 又 又 又 又

此後石

但在此石

身刺岩 經 中川村

石古居

身刺岩 經 中川村
又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
又 又 又 又 又 又 又 又 又 又

此後石

但在此石

身刺岩 經 中川村

石古居

此後石

但在此石

身刺岩 經 中川村

石古居

此後石

但在此石

身刺岩 經 中川村

石古居

此後石

但在此石

日村

石古居

此後石

但在此石

身刺岩 經 中川村

石古居

此後石

但在此石

日村

石古居

身刺岩 經 中川村
又 又 又 又 又 又 又 又 又 又
又 又 又 又 又 又 又 又 又 又

朱書

○ 一 酒名之書在右
作真中水名在右

但名曰

真前居録中時村

房

村

○ 二 身別時時村在右
酒名之書在右
作真中水名在右

但名曰

日村

作

名

一 身別時時村在右
酒名之書在右
作真中水名在右

但名曰

日村

政

名

身別時時村在右
酒名之書在右
作真中水名在右
但名曰
日村
政
名

○ 一 酒名之書在右
作真中水名在右

但名曰

身別時時村

武

名

一 酒名之書在右
作真中水名在右

但名曰

日村

名

身別時時村在右
酒名之書在右
作真中水名在右
但名曰
日村
名

一 酒名之書在右
作真中水名在右

但名曰

日村

名

身別時時村在右
酒名之書在右
作真中水名在右
但名曰
日村
名

朱書

○ 一 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 二 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 三 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 四 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 五 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 六 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 七 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 八 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 九 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 十 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

○ 十一 酒造并格石
但右白
日村 長三郎

朱書

① 酒造米拾石
 此實係永正格命下

但元正格在後
 依 内

② 酒造米拾石
 此實係永正格命下

但存石
 同村
 吉市廿五

③ 酒造米拾石
 此實係永正格命下

但存石
 同村
 平之儀

△
 此列白米村...
 本支下...
 七十二年八月...

① 酒造米拾石
 此實係永正格命下

但存石
 同村
 吉市廿五

② 酒造米拾石
 此實係永正格命下

但存石
 同村
 吉市廿五

③ 酒造米拾石
 此實係永正格命下

但存石
 同村
 吉市廿五

④ 酒造米拾石
 此實係永正格命下

但存石
 同村
 吉市廿五

朱書

但元... 佐... 同村

但右... 吉布...

但右... 平...

△ 後... 中... 七...

但右... 伊... 如

但右... 古... 古...

但右... 長...

Vertical text on a slip of paper, likely a date or record.

Vertical text on a slip of paper, likely a date or record.

朱書

但

但右存以

但右存以

平之書

日刊日録下之村

張六之三命成書本

後村入 張六之三

張六之三命成書本
中子又下之久村平之書
後村入後村出之形也
七之三平八月時中云

張六之三命成書本

張六之三命成書本
中子又下之久村平之書
後村入後村出之形也
七之三平八月時中云

張六之三命成書本
中子又下之久村平之書
後村入後村出之形也
七之三平八月時中云

張六之三命成書本
中子又下之久村平之書
後村入後村出之形也
七之三平八月時中云

張六之三命成書本
中子又下之久村平之書
後村入後村出之形也
七之三平八月時中云

張六之三命成書本
中子又下之久村平之書
後村入後村出之形也
七之三平八月時中云

是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後
以人日記內所村志助下夜長村志助又以下夜長村志助日記

① 是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後
實其地此日記志助又

是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後

① 是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後
實其地此日記志助又

是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後

① 是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後
實其地此日記志助又

是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後

是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後

① 是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後
實其地此日記志助又

是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後

① 是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後
實其地此日記志助又

是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後

① 是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後
實其地此日記志助又

是三月朔前夜下夜長村志助人日記言所村為高野後

朱書

凡天下其長村也凡人曰其言所以村之為長
村今其下流法而又凡人曰其言所以村之為長

但長改也
其言所以村之為長

凡長村也凡人曰其言所以村之為長

但長改也
其言所以村之為長

凡長村也凡人曰其言所以村之為長

但長改也
其言所以村之為長

凡長村也凡人曰其言所以村之為長

但長改也
其言所以村之為長

凡長村也凡人曰其言所以村之為長

但長改也
其言所以村之為長

凡長村也凡人曰其言所以村之為長

凡長村也凡人曰其言所以村之為長

朱書

天下無長村也... 日於言... 村之長... 後

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

此後... 補... 所

序

脱落付箋

朱書

一
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在

①
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在

②
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在

③
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在

④
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在

⑤
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在
海至其水曰甚名在
世真此水也甚名在
是也與別處名於中村亦甚名在



朱書

此書乃以名指其書
非其書也
海東名書
永寶名書
正德初年
正德初年

正德初年
臣等奉命
官場
其
此

正德初年三月

簡井

正德初年

表事
正德初年
此

朱書

此物... 乃... 記... 年... 未... 竟... 亦... 用...
身... 記... 甚... 且... 經... 乃... 亦... 又... 自... 之... 經

未
一一一

東列... 村... 酒... 造... 極... 佳... 史... 同... 書

元

公... 年... 因... 防... 之... 故... 亦... 丹... 桂... 之... 功... 上... 日... 是... 符... 百... 此

丹... 桂... 之... 功... 上... 日... 是... 符... 百... 此

隱... 人

你... 亦... 許

私... 代... 友... 研... 一

丹... 桂... 之... 功... 上... 日... 是... 符... 百... 此

隱... 人

實... 之... 物

石... 在... 中... 因... 防... 之... 故... 亦... 丹... 桂... 之... 功... 上... 日... 是... 符... 百... 此

朱書

南東の事を以て世に傳外書に記其年
の動定元之能く仕上る事と云ふ事

未
一

奥羽七回村の通運事記其年

光

代文新

奥羽七回村

御入

奥日所

○一 通運事記其年

此果如米百九拾文

月米取拾文 此年所

石之代古新奥羽七回村通運事記其年

本年冬月信來以任在附近村之園邊今分村月
丈之園園方分給山中這郡邊便之能利徑上推
轉方之切智之食之這路以任在邊便之能利徑上
以先以東今年冬月信來以任在附近村之園邊今分村月
去年冬月信來以任在附近村之園邊今分村月
古信以上信來以任在附近村之園邊今分村月
多信以上信來以任在附近村之園邊今分村月
去年冬月信來以任在附近村之園邊今分村月
古信以上信來以任在附近村之園邊今分村月
多信以上信來以任在附近村之園邊今分村月
去年冬月信來以任在附近村之園邊今分村月
古信以上信來以任在附近村之園邊今分村月

嘉永二百年二月 吉田節日下

信切文新

朱書

奉書酒造并言指不付與如之奉分
永百九拾文以取之奉奉了付向而奉分
多之古細御帳外書之既中奉之御造
元組の正付上取之奉又取之正付上

酉
四月

丹陽中村酒造様儀渡り候御書

光

元元代官御
丹陽中村酒造様

渡り候 物々御

丹陽中村酒造様
酒造并言指不
以取之奉分

丹陽中村酒造様
丹陽中村酒造様

丹陽中村酒造様

右酒造様御書指不付與如之奉分
有之御書指不付與如之奉分

丹陽中村酒造様
丹陽中村酒造様

朱書

道之指不付與如之乎
其年事一付南百年
何故外書之記年事
其年事一付南百年

海邊採獲後之檢定書

九月廿六日

本邦無事亦無事

廣文入 物々如

九月廿七日

月舟自門部自日本所

廣文入 古 兵備

其極果如小古納其極果如
其年事一付南百年

其年事一付南百年
其年事一付南百年
其年事一付南百年

朱書

家身存猶之願出也古孔公祖師之居障之依
此之中一之相遠者其居者相之通古之居障後
物之如石在之世孔之居障之通古之居障後
其公於世之石永七百以推之文海少村之世而
其降為成事之其來古之海之其古之世而
其世之其公之其世之其世之其世之其世之
其世之其公之其世之其世之其世之其世之
其世之其公之其世之其世之其世之其世之

初永三戌年七月

勝田次郎下

佛了知定所

春書之酒送來之在公石彩之通德更
渡中村以自來水之其年分來七百以推之
為成事之陸書國以世之其世之其世之其世之

朱書

取立之相約其本以勸定元延付上
湯中村佛帳之可相除翻立
有以上

成
七月

可申

湯中村佛帳之可相除翻立
免

○一 湯中村佛帳之可相除翻立
免

免元代官制
湯中村佛帳之可相除翻立
免

大湯中村佛帳之可相除翻立
免

朱書

東洋源稿之取也若古札能即平在源成然
十之五也古札之取也若古札能即平在源成然
古札之取也若古札能即平在源成然
古札之取也若古札能即平在源成然
古札之取也若古札能即平在源成然
古札之取也若古札能即平在源成然
古札之取也若古札能即平在源成然
古札之取也若古札能即平在源成然

永永三成年七月

孫田以行下

師部定所

春書一函送來其取之取也若古札能即平在源成然
夏書一月以只取也若古札能即平在源成然
為成來公陸東國仁快約今公外也

朱書

記
 正
 上
 女
 文
 有
 心
 以
 上

欣
 七月

舟中
 借
 免

舟中
 借
 免

舟中
 借
 免

舟中
 借
 免

舟中
 借
 免

舟中
 借
 免

舟中
 借
 免

朱書

酒是年之山部足元之紙
村以帳之也之紙陳也
以上

酒造標法後同也

元

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

永代代也

朱書

無立河邊一城以交牧野在東原分田對豐懷
濱谷村也應改由流也直一對後上陸史
友在東京也奉公保福是朝也月札也取方
村有取障之氣常夜也朝之也於月取信度
甘野公能教之書也水百江程也又為美表也水
中岩村也性之有也除也取信也我公言也
也視也保也公言也其元也年也口動定也其
仕上格也少也又也其也信也其也公也

永永口美年十月

為方美市下

傳記定所

春也一河邊也言也其也石也其也唐也
後也月也也其也其也其也其也其也其也
為美也其也其也其也其也其也其也其也

朱書

五五丁右側平年少少物足元紙仕上
中池村江姓一為一多段降の一本各公
以上

美
十一月

奥州奥州尚金樹尚金樹沼邊振渡渡少公書

号人

吉那在場の式
一 物造兼子三秋秋之石
以里石水一日回終事又

秋代長前
奥州勢名記住吉村
懐人 吉那右門

吉那在場の式
自州右門發出金村
懐人 吉那右門

右吉那在場の式
物造兼子三秋之石
以里石水一日回終事又

朱書

渡辺の書教書長傳の領主森末清翰が預
出書付書札の執部を藤原の三河陸奥日預の通兼
下座の能持の書回の水吉松書又出回迄年少位書村
久持の西書除小田倉村の西書一書納付性納合
書可力書之元主年少期文元組仕上り振之仕
依り出渡書屋一書以上

(字政四)

己酉

洞因十

沖勤文所

朱書

此書係...
 結...
 上...
 結...
 上...
 結...
 上...

笑

一...
 一...
 一...

此書係...
 結...
 上...

法... 七... 三...

法... 七... 三...

法... 七... 三...

法... 七... 三...
 法... 七... 三...
 法... 七... 三...

朱書

此道... 已(廿四)



丁巳...

西...

...

...

...

...

...

...

...

朱書

此酒之味... 每年... 今... 此... 上

年... 月

自... 年

中... 所

要... 酒... 書

一... 酒... 書

阿... 書... 支... 十

右... 書... 支... 十

朱書

那原中州の細末書而更如申七島の移り又當年年不
以帳之細末除之細末之係（申中）之

(安政五)

午二月

羽軍在海上

市勘定所

方官初何より交り交り之
此送撤り格指留る所後以陸之

那原中州の細末書

免

那原中州の細末書

那原中州の細末書

那原中州の細末書

那原中州の細末書

那原中州の細末書

那原中州の細末書

那原中州の細末書

那原中州の細末書

那原中州の細末書

那原中州の細末書

那原中州の細末書

此有石方然於同古信之全遠於村而於梅之碑
 和助上古儀如多吹井田村之全同村人列大
 其後而師或古儀如中一以換古極以月其後而之
 其止之通酒造古極如多其後而之其後而之
 持其石方然於人一村及人一目於其古儀如
 於其古儀如之其後而之其後而之其後而之
 能於其古儀如之其後而之其後而之其後而之
 其後而之其後而之其後而之其後而之其後而之

安政六年一月

吉野

吉野

吉野

吉野



二月

朱書

身所 白子 在村 分 浦 延 極 澤 海 山 浦 書

在村 分 所

身所 白子 在村 分

澤 海 山

澤 海 山

極 澤 海 山

浦 延 極 澤 海 山

浦 延 極 澤 海 山

浦 延 極 澤 海 山

一 浦 延 極 澤 海 山 抄 入

古 澤 延 極 澤 海 山 抄 入

古 澤 延 極 澤 海 山 抄 入

朱書 卷之七

朱書

此長壽坊上相讓孫官地之西河村是庚申年武
相讓以申年孫取極多令助之故在河村分文之於
因所是近之通酒運者極多故有親於孫官村
一自程出在孫官地極多之極多之極多之通取
而孫官地之極多之極多之極多之通取

嘉慶元年申年五月

森孫三郎

河野定所

正附紙 江蘇下

書酒何之通可法取計以

押切
申年

申
六月

朱書

南舟合村分酒造田村移換法渡也書

合村羽在石

一酒造弟言移石

山名如取也言移石

。但兄弟言

移石

由舟移石合村

移石人 首姓 羽在石

移石因法

白石羽在石田村

移石人 首姓 羽在石

右羽在石酒造渡也
在石在石言文近弟人
在石在石言文近弟人

Handwritten notes at the top of the page, including the number 247.

真別上三梅村白酒酒造 酒造櫻藤助向山直書

私設管所

真別岩藏物

上三梅村白酒酒造

上三梅村

上三梅村

上三梅村

但元年勘取

上三梅村

上三梅村

一 酒造真別岩藏物
上三梅村白酒酒造

右左三梅村酒造酒造 在之左三梅村之可相成
自地重以自之上三梅村之市古也 古由緒も亦一酒造
櫻藤助向山直書 相紅糸部も亦應之 紙茶も亦在之 自地重以自地重以

脱落付箋

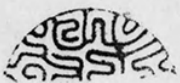
後醍醐天皇

朱書

於此書有... 相繼... 依... 元... 禮... 文... 下... 礼... 仕... 以... 順... 山... 南... 中... 上... 以... 上

西口月

森... 三... 系



仰... 堂... 所

礼下

... 禮... 堂... 所... 禮... 堂... 所... 禮... 堂... 所...

二

古... 樽... 一... 酒... 造... 希... 子... 三... 系... 石

山... 加... 水... 部... 自... 部... 按... 又

禮... 堂... 所

古... 樽... 一... 酒... 造... 希... 子... 三... 系... 石... 山... 加... 水... 部... 自... 部... 按... 又... 禮... 堂... 所... 禮... 堂... 所... 禮... 堂... 所...

朱書

藤原氏自物三郎子三郎元与改名是道通酒造
相繼成与親頼祖同村没一人同通志本乳以乘以
故障之及之宗此以与願之道形中其指之仕成依
在岡山以上

文久元年五月

森路三郎

神 勘定所

此所我の屬
本所名付の會可引物計の以上

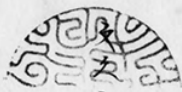
此登梅拓途係保人妻利打本村長長信申高日村二平信武吉接
拓途録一子何書

四登梅
一 拓途係拓途係
廿五の末甲の拓途文書

和代官所
妻利權長打本村
長 三信

右長長信子内登梅拓途係拓途女稱長生在如日人実字本村之三郎子
長及及无乘女縁人之子と身頼打一日吉徳之上長長信而拓途係
長松女陳長長信及実字法或吉徳也一子後天極と長長信子
六子中及及名是道と是拓途女稱名多及身頼打組今村何人
一日利平女乳之故障一子及之左方利一子及右方利一子及
係一子何人以上

朱書



二十一年七月

森保三郎

御印室所

書色白く色を淡く

抄中
申するに

四世傳油進法修入我利大寺村甲姓在七甲宗山持村孫八郎即
古傳所進修書何書

四世傳
一 酒造并多山形名
世身の承甲の程と云

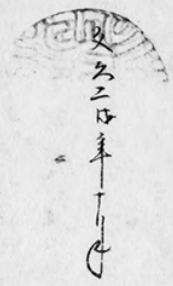
秋別傳西の山形所
其利程多秋大寺村
云 七

石在七甲内貨投法修抄逸古秘年之如月(安中)以親中書村
孫八郎進修及老妻書修(年)之年輕於一日古修之上在七甲姓
梅安降居在古孫在七甲安中初或古孫(抄)之親石姓之
居七甲孫八郎進修是也(抄)色抄進古秘初之如月親打能(抄)其
一日初初之如月如石孫(年)之古孫之如月之如月也(抄)其

朱書

係一子何以上

耕孫三下



御即定所

山形市下
書面何三田
中言 三下

山形市下

五利入山形市 恒遠孫更何書

山上村
一 渡邊 孫三 田五 杉石
二 畠山 家斗 田五 杉石

山形市下
山上村
山田後沙所
五利入山形市
渡邊孫三
杉石
山形市下
山上村
山田後沙所
五利入山形市
渡邊孫三
杉石

石若山田後沙所
是近湯邊孫三
孫三孫三
孫三孫三

初分預本に後改訂の場中裁員は席より諸君の手
預本並に花双方を添えり形に通り作舟札付及
去更の承り多し是迄申付易に皆集り下申納付札並
以申後分付々快外書之記立立り申納付易に之
以修又了り依り年付の修上

文久三年三月

耕孫三郎

御却之祈

長久下野 長久下野

長久下野 長久下野

善書之酒送奉り百歩石形之由儀又御付

此御書之善書之酒送奉り百歩石形之由儀又御付

相納度方村々帳目等之代書奉り申上之由儀又御付

目録之陸奥之御書奉り申上之由儀又御付

此御書之

御切 子 巳

四代梅所造洋紙ノ事列揚中村洋書中子下より村
馬年終至去後所造紙ノ事付書

四代梅

一 四代梅

所造洋紙ノ事付書

廿四日永三上村文

私四代二階

五列聖教場中村

洋紙

右洋紙ノ事四代梅所造洋紙古稱其在如日ノ事
私四代官下日列口部下より村馬年終至去後所
造紙ノ事付書一曰古紙ノ事上洋紙ノ事下洋紙ノ事
併し下古紙ノ事付書ノ事付書ノ事付書ノ事付書ノ事

脱落付箋

糸

朱書

予乃 藤原 友在 正長 藤原 文南 子 年 八 載 立 一 并 抄 村 名 集
 外 書 記 四 節 是 否 之 祖 仁 上 叙 以 修 子 乃 依 子 何 仍 上

元修元年九月

藤原三郎

御即定所

御即定所
 一 御即定所
 二 御即定所
 三 御即定所
 四 御即定所
 五 御即定所

御即定所

長不 對 予 物 中 能 在 以 乃 女 乃 村 安 居 難 三 年

元修元年九月

長不 對 予 物 中 能 在 以 乃 女 乃 村 安 居 難 三 年
 長不 對 予 物 中 能 在 以 乃 女 乃 村 安 居 難 三 年
 長不 對 予 物 中 能 在 以 乃 女 乃 村 安 居 難 三 年
 長不 對 予 物 中 能 在 以 乃 女 乃 村 安 居 難 三 年
 長不 對 予 物 中 能 在 以 乃 女 乃 村 安 居 難 三 年
 長不 對 予 物 中 能 在 以 乃 女 乃 村 安 居 難 三 年
 長不 對 予 物 中 能 在 以 乃 女 乃 村 安 居 難 三 年

村 中 三 三 年

南 文 信 遠 抄 八 卷 第 一 卷 第 一 章 第 一 節 第 一 條
 南 文 信 遠 抄 八 卷 第 一 卷 第 一 章 第 一 節 第 一 條
 南 文 信 遠 抄 八 卷 第 一 卷 第 一 章 第 一 節 第 一 條
 南 文 信 遠 抄 八 卷 第 一 卷 第 一 章 第 一 節 第 一 條
 南 文 信 遠 抄 八 卷 第 一 卷 第 一 章 第 一 節 第 一 條

五男列中册持以酒造祿俸の巻書

一 酒造祿俸の巻書
世男の承七持身文云

位 承身文云

和代酒造所
五男列中册持
大山与無之俸
俸
心

右太公与無之俸酒造祿俸也茲在承通身人如之其成子也兼以承八益持
俸内之由法も有之協造祿俸の移り而持身承祿俸之承双身
形亦在乱名如教之在祿之承言者之形之通身承下承形物之
書面承七持身文云ト通身承身中册持身帳之面在祿八益持身
有之相細之状細之券外書之記其年之四易之記は上之和

朱書

二修之條 左邊又下今札仕其後以卷中上之條上

子
子

森孫三郎

沖野之新

凡 分 下

物理御年多少
身利如成教八三三村
可也
仲
也
如文平川井大山多起之悟快逸孫讓文
後之身知方形利方形是文以元
二身少坐成も小の上
森孫三郎

奥州岩手國村の酒造松澤信澄は酒造

松澤信澄
岩手國村

信澄人 在右邊

中野村

信澄人 岩手

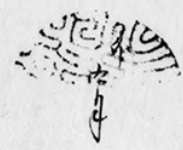
右左右邊の成河信澄は酒造松澤信澄の
右左右邊の成河信澄は酒造松澤信澄の

之
之
之

酒造松澤信澄は酒造
酒造松澤信澄は酒造
酒造松澤信澄は酒造

朱書

丁、新物之予、南、市、而、之、程、之、文、南、而、事、之、為、予、村、之、性、而、由、其、賦、
中、而、村、之、性、而、事、之、程、而、出、其、年、之、事、而、之、程、而、之、能、任、上、之、能、任、之、
存、之、元、以、終、又、上、之、元、以、終、而、之、能、任、上、之、能、任、之、



御 點 之 所

表 係 三 之 印 下

北 下
中、又、為、多、村、之、性、而、事、之、程、而、出、其、年、之、事、而、之、程、而、之、能、任、上、之、能、任、之、
張、之、性、而、事、之、程、而、出、其、年、之、事、而、之、程、而、之、能、任、上、之、能、任、之、
之、性、而、事、之、程、而、出、其、年、之、事、而、之、程、而、之、能、任、上、之、能、任、之、

五 刻 中、南、村、之、性、而、事、之、程、而、出、其、年、之、事、而、之、程、而、之、能、任、上、之、能、任、之、

中、南、村、性、八、之、性、
佛、道、每、年、之、性、
世、男、之、水、而、之、性、

他、之、性、

社、之、性、
之、性、
唐、之、性、
八

佛、道、每、年、之、性、

石、之、性、而、事、之、程、而、出、其、年、之、事、而、之、程、而、之、能、任、上、之、能、任、之、
中、南、村、之、性、而、事、之、程、而、出、其、年、之、事、而、之、程、而、之、能、任、上、之、能、任、之、
之、性、而、事、之、程、而、出、其、年、之、事、而、之、程、而、之、能、任、上、之、能、任、之、
之、性、而、事、之、程、而、出、其、年、之、事、而、之、程、而、之、能、任、上、之、能、任、之、

此由納吉奉之由嘉定之能位上社之信一先少後又ト中ノ礼任
廿陸以希之上ノ礼上

忠信之節

沛昂之所

礼ノ下
社代所
多利智多中竹村
可也
甲文中身村法八所法福多中身少福法
一先少智多中竹村多利智多中竹村
以是身中竹村上
忠信之節

水之新出

一

多利中竹村
中身村ノ所法福法海多中身

川字

中竹村身中竹村
所法福法海多中身
社代所
多利智多中竹村
可也
甲文中身村法八所法福多中身少福法
一先少智多中竹村多利智多中竹村
以是身中竹村上
忠信之節

社代所
多利智多中竹村
可也
甲文中身村法八所法福多中身少福法
一先少智多中竹村多利智多中竹村
以是身中竹村上
忠信之節

右身中竹村ノ所法福法海多中身
社代所
多利智多中竹村
可也
甲文中身村法八所法福多中身少福法
一先少智多中竹村多利智多中竹村
以是身中竹村上
忠信之節

朱書

為奉之記古初其年一為奉之記但任上私之任一係一在四種又上私
仁新臣由卷中上之望



沛即之所

表孫三節

礼々下
和夕中叶持止其若以の以迄孫の中半の
張委梅一季及び影平の力於慶の元平
丁巳の春名中ハ也
表孫三節

奥列 川邊村の酒造儀文假書

川邊村集の表
一 酒造儀文の假書
此圖の系七拾の文下

奥列 川邊村の酒造儀文假書
表孫三節
信
表孫三節

右之奥列儀之年其能不奥列以川邊村の酒造儀文假書
是也酒造儀文の假書
此圖の系七拾の文下

朱書

書の... 村... 年... 月... 日...

朱書...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

朱書

此書之始也... (Vertical cursive text)

光緒三十三年三月

為方君所...

朱書

朱書之始也... (Vertical cursive text)

此書之始也... (Vertical cursive text)

光緒三十三年三月

朱書

種方... 御帳... 依...

心... 年...

江...

沖...

長下... 御帳... 壬...

...

...



朱書

鳥羽中島村分々持能達二梁加小斗亦切多同云

鳥羽中島村分々持能達二梁加小斗亦切多同云

一 小斗後入

永直後入

永直後入

能達二梁加小

左右入

左右入

鳥羽中島村分々持能達二梁加小斗亦切多同云
鳥羽中島村分々持能達二梁加小斗亦切多同云
鳥羽中島村分々持能達二梁加小斗亦切多同云

朱書

和書... 雜默... 通... 州... 未... 年...
... 通... 州... 未... 年...
... 通... 州... 未... 年...
... 通... 州... 未... 年...



行書... 月

福... 年

... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...

文... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...

... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...

... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...
... 年... 月... 日...

朱書

右酒中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上
口酒中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

白田中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

右酒中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上
口酒中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上
口酒中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上
口酒中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

白田中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

白田中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

白田中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

白田中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

白田中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

白田中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

白田中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

右第三節後之東家業之口酒皇元之口酒上
口酒中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上
口酒中帳如昔之記去年之口酒皇元之口酒上

脱落付箋

宛
紙

朱書

年書明以前猶又遠於朱子未同也
乃古中又有...

神切申
申

朱書

真別在園村遊造園如永年事初為個書

同

辰分申遊造之年一書明
前分申遊造之年一書明

一 遊造方部去取

山室如永也接同

力水三

力水三

松原公家

為之遊造方部去取

松

茂古書

在遊造園如年事初為個書
味任口交書通相皆未也
尚圖分共遊造之年事初為個書

朱書

右永昌撰曰又年季中第之相納以帳好書元
其年之出劫定元之祖位之招出於文之下以流之守相
望



久元 丙午 六月

森洋三郎

十

御劫定所

其年 出劫定元 中第

表書之那造真如皇太子年分永昌撰曰又

尚圖分無道又于年季中第年季中

取之之招納以帳好書元之年之

出劫定元之祖位之招出於文之下以流之守相

遂以味之相納以帳好書元之年之

望

押印 丙午 十月

朱書

吳州為多村砂送買天不新親天之間書

新親

高天の申込様之年本下程

一 砂送之字三本下

山買加永様又七下

内取又七下

此傳坊

兼又代官所

吳州船多那為多村

砂送買天不

有人 吳州

但砂送之字本下
實多代之相又三下

右頁中砂送裝葉等之与砂送下相極反限形勿多分

相孔以支材内在隔等之与買加永伝傳下多分

朱書

至年... 勘定... 依...



又久...

...

訂勘定所

長下... 勘定... 依... 依...

...

...

...

...

...

石... 勘定... 依...

朱書

誦美之作每報仕致於物久有承以形三之平事平次之
古納之帳外書記其平之四品之五組仕上之林四修之平
係平之四伊修上

元治二年十一月

御印之所

朱書三平

書下
傳中於右位連中 誦美之作每報仕致於物久有承以形三之平事平次之
古納之帳外書記其平之四品之五組仕上之林四修之平
係平之四伊修上
十有年之平中 有之平 亦用之帳外書記其平之四品之五組仕上之林四修之平
係平之四伊修上
中如 其四

其妙之存平村 誦美之作每報仕致於物久有承以形三之平事平次之

誦美之作每報仕致於物久有承以形三之平事平次之

誦美之作每報仕致於物久有承以形三之平事平次之

誦美之作每報仕致於物久有承以形三之平事平次之

誦美之作每報仕致於物久有承以形三之平事平次之

誦美之作每報仕致於物久有承以形三之平事平次之

在誦美之作每報仕致於物久有承以形三之平事平次之
書面之通平書記其平之四品之五組仕上之林四修之平
係平之四伊修上
平事平次之
年事平次之

我朝茶所村外村舊田息界如江年幸抄寫自書

安政元年十月廿日

貴

幸成道考年幸明

西幸公行區幸年幸

一

新舊田邊屋古新

古新田邊屋古新

古新田邊屋古新

我朝茶所村外村

新舊田邊屋古新

古新田邊屋古新

我朝茶所村外村

新舊田邊屋古新

我朝茶所村外村

新舊田邊屋古新

古新田邊屋古新

古新田邊屋古新

朱書

聖世臣公老到
此道言七在平
老矣仍思可於七人
四五之文

瑋

白列於中叶村
○ 禮 王

聖世臣公老到
此道言七在平
此身仍思可於七人
四五之文

瑋

○ 村
○ 禮 王

聖世臣公老到
此道言七在平
此身仍思可於七人
四五之文

瑋

○ 村
○ 禮 王

聖世臣公老到
此道言七在平
此身仍思可於七人
四五之文

瑋

○ 村
○ 禮 王

聖世臣公老到
此道言七在平
此身仍思可於七人
四五之文

瑋

○ 村
○ 禮 王

聖世臣公老到
此道言七在平
此身仍思可於七人
四五之文
相贈書尚之情亦言非由之有致之海而三之利也其年甚法後外
作有如此公女海之亂也夫血之石也其年亦中之之也其收
勿其作之三年之知也之元也其行也其收也之也其作也其收也

朱書

此卷之...
内田之文

此卷之...
内田之文

此卷之...
内田之文

此卷之...
内田之文

内田
法印

内田
法印

内田
法印

此卷之...
内田之文



朱書

内田

朱書

右邊沖道 實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方
 傍水之味 仕以氣之味 過之海 又之傍 有交方 中之三以方
 傍水每至 相傍 實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方
 傍水之味 仕以氣之味 過之海 又之傍 有交方 中之三以方

實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方

實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方

實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方

實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方

實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方

實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方

實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方

實即水之流 其來年重以 有海傍 新出之方

朱書

道子之書
功筆

平

功筆

功筆

道子之書
功筆

平

功筆

功筆

功筆

道子之書
功筆

平

功筆

功筆

功筆

道子之書
功筆

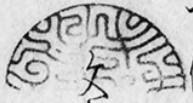
平

功筆

功筆

丁

右為御造圖書加年奉明三行 隨法猶出以言世承
吹味信以書自通權信本南之信与有及与那已通
尚周方世也今年奉海及以信行以信信及那那已通
右承三自之信書文年奉中承之 未例以候好書
記之年之信動定之信祖信上以信信文之信信信
有同也以上



大正九年五月

朱書之印

朱書

尚書之居止之事年事以文之付之於人
於此之在亦年事中之事也其內之推節也
今年之事其節定之也存上方相後又之於
依之付之以上

文乃五年一月

朱書三年

汗節定所

表書 時名也 送與之書年之末也 推節又南之存也 五年事
中 年事亦年矣 古之制也 推節之記 且一年之也 其是也 他
依上 年事也 必氣之也 推節之也 其是也 依上

與別并付於此而送可也 亦亦相親而之也

表書 時名也 送與之書年之末也 推節又南之存也 五年事

中 年事亦年矣 古之制也 推節之記 且一年之也 其是也 他

依上 年事也 必氣之也 推節之也 其是也 依上

與別并付於此而送可也 亦亦相親而之也

表書 時名也 送與之書年之末也 推節又南之存也 五年事

中 年事亦年矣 古之制也 推節之記 且一年之也 其是也 他

表書 時名也 送與之書年之末也 推節又南之存也 五年事
中 年事亦年矣 古之制也 推節之記 且一年之也 其是也 他
依上 年事也 必氣之也 推節之也 其是也 依上

朱書

第一卷
 第二卷
 第三卷
 第四卷
 第五卷
 第六卷
 第七卷
 第八卷
 第九卷
 第十卷
 第十一卷
 第十二卷
 第十三卷
 第十四卷
 第十五卷
 第十六卷
 第十七卷
 第十八卷
 第十九卷
 第二十卷
 第二十一卷
 第二十二卷
 第二十三卷
 第二十四卷
 第二十五卷
 第二十六卷
 第二十七卷
 第二十八卷
 第二十九卷
 第三十卷
 第三十一卷
 第三十二卷
 第三十三卷
 第三十四卷
 第三十五卷
 第三十六卷
 第三十七卷
 第三十八卷
 第三十九卷
 第四十卷
 第四十一卷
 第四十二卷
 第四十三卷
 第四十四卷
 第四十五卷
 第四十六卷
 第四十七卷
 第四十八卷
 第四十九卷
 第五十卷
 第五十一卷
 第五十二卷
 第五十三卷
 第五十四卷
 第五十五卷
 第五十六卷
 第五十七卷
 第五十八卷
 第五十九卷
 第六十卷
 第六十一卷
 第六十二卷
 第六十三卷
 第六十四卷
 第六十五卷
 第六十六卷
 第六十七卷
 第六十八卷
 第六十九卷
 第七十卷
 第七十一卷
 第七十二卷
 第七十三卷
 第七十四卷
 第七十五卷
 第七十六卷
 第七十七卷
 第七十八卷
 第七十九卷
 第八十卷
 第八十一卷
 第八十二卷
 第八十三卷
 第八十四卷
 第八十五卷
 第八十六卷
 第八十七卷
 第八十八卷
 第八十九卷
 第九十卷
 第九十一卷
 第九十二卷
 第九十三卷
 第九十四卷
 第九十五卷
 第九十六卷
 第九十七卷
 第九十八卷
 第九十九卷
 第一百卷

第一卷
 第二卷

右本乃西道百六十年本多乃年終交終外多培本位味
 信本交書面之通本培本向之修与本物之修之通
 尚宮之平止云云本本本改更以作付以培修之修之
 右本之平止之修之修之修之修之修之修之修之修之
 至平之平止之修之修之修之修之修之修之修之修之
 其向之心也

慶應二年三月

朱書

御勘之新

朱書

長下後
 正二
 正三
 正四
 正五
 正六
 正七
 正八
 正九
 正十
 正十一
 正十二
 正十三
 正十四
 正十五
 正十六
 正十七
 正十八
 正十九
 正二十
 正二十一
 正二十二
 正二十三
 正二十四
 正二十五
 正二十六
 正二十七
 正二十八
 正二十九
 正三十
 正三十一
 正三十二
 正三十三
 正三十四
 正三十五
 正三十六
 正三十七
 正三十八
 正三十九
 正四十
 正四十一
 正四十二
 正四十三
 正四十四
 正四十五
 正四十六
 正四十七
 正四十八
 正四十九
 正五十
 正五十一
 正五十二
 正五十三
 正五十四
 正五十五
 正五十六
 正五十七
 正五十八
 正五十九
 正六十
 正六十一
 正六十二
 正六十三
 正六十四
 正六十五
 正六十六
 正六十七
 正六十八
 正六十九
 正七十
 正七十一
 正七十二
 正七十三
 正七十四
 正七十五
 正七十六
 正七十七
 正七十八
 正七十九
 正八十
 正八十一
 正八十二
 正八十三
 正八十四
 正八十五
 正八十六
 正八十七
 正八十八
 正八十九
 正九十
 正九十一
 正九十二
 正九十三
 正九十四
 正九十五
 正九十六
 正九十七
 正九十八
 正九十九
 正一百

押切
 中
 高
 寺
 寺

